

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公開番号】特開2009-118423(P2009-118423A)

【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2007-292339(P2007-292339)

【国際特許分類】

H 04 N 5/445 (2006.01)

H 04 N 5/00 (2006.01)

H 04 N 7/173 (2006.01)

G 09 G 5/00 (2006.01)

G 06 F 3/14 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/445 Z

H 04 N 5/00 A

H 04 N 7/173 6 3 0

G 09 G 5/00 5 5 0 C

G 09 G 5/00 5 1 0 V

G 09 G 5/00 5 1 0 H

G 06 F 3/14 3 5 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月28日(2010.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンテンツを表示する表示装置であって、
視聴者の状況情報を検出する検出手段と、

前記検出手段において検出された状況情報に基づいて、当該表示装置か、又は当該表示装置に対して操作指示を行うリモートコントローラの表示手段か、GUI画面の表示先を制御する制御手段と、

を有することを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記検出手段は、当該表示装置を視聴している視聴者が複数存在するか否かを前記状況情報として検出し、

前記制御手段は、前記検出手段において当該表示装置を視聴している視聴者が複数存在する旨の状況情報が検出された場合、前記リモートコントローラの前記表示手段をGUI画面の表示先とし、前記検出手段において当該表示装置を視聴している視聴者が複数存在しない旨の状況情報が検出された場合、当該表示装置をGUI画面の表示先とすることを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記検出手段は、前記リモートコントローラを操作する視聴者が、前記リモートコントローラと当該表示装置とのどちらを見ているかを前記状況情報として検出し、

前記制御手段は、前記検出手段において前記視聴者が、前記リモートコントローラを見

ている旨の状況情報が検出された場合、前記リモートコントローラの表示手段をG U I画面の表示先とし、前記検出手段において前記視聴者が、当該表示装置を見ている旨の状況情報が検出された場合、当該表示装置をG U I画面の表示先とすることを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項4】

前記検出手段は、前記リモートコントローラを操作する視聴者と当該表示装置との間の距離を前記状況情報として検出し、

前記制御手段は、前記検出手段において検出された距離が予め定められた値より大きい場合は前記距離が遠いと判断し、前記リモートコントローラの表示手段をG U I画面の表示先とし、前記検出手段において検出された距離が予め定められた値より小さい場合は前記距離が近いと判断し、当該表示装置をG U I画面の表示先とすることを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項5】

前記制御手段は、当該表示装置をG U I画面の表示先とされている場合、前記リモートコントローラの表示手段に前記コンテンツを表示させることを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載の表示装置。

【請求項6】

コンテンツを表示する表示装置が実行する制御方法であって、

視聴者の状況情報を検出する検出手段と、

前記検出手段において検出された状況情報に基づいて、当該表示装置か、又は当該表示装置に対して操作指示を行うリモートコントローラの表示手段か、G U I画面の表示先を制御する制御手段と、
を有することを特徴とする制御方法。

【請求項7】

前記検出手段では、当該表示装置を視聴している視聴者が複数存在するか否かを前記状況情報として検出し、

前記制御手段では、前記検出手段において当該表示装置を視聴している視聴者が複数存在する旨の状況情報が検出された場合、前記リモートコントローラの前記表示手段をG U I画面の表示先とし、前記検出手段において当該表示装置を視聴している視聴者が複数存在しない旨の状況情報が検出された場合、当該表示装置をG U I画面の表示先とすることを特徴とする請求項6に記載の制御方法。

【請求項8】

前記検出手段では、前記リモートコントローラを操作する視聴者が、前記リモートコントローラと当該表示装置とのどちらを見ているかを前記状況情報として検出し、

前記制御手段では、前記検出手段において前記視聴者が、前記リモートコントローラを見ている旨の状況情報が検出された場合、前記リモートコントローラの表示手段をG U I画面の表示先とし、前記検出手段において前記視聴者が、当該表示装置を見ている旨の状況情報が検出された場合、当該表示装置をG U I画面の表示先とすることを特徴とする請求項6に記載の制御方法。

【請求項9】

前記検出手段では、前記リモートコントローラを操作する視聴者と当該表示装置との間の距離を前記状況情報として検出し、

前記制御手段では、前記検出手段において検出された距離が予め定められた値より大きい場合は前記距離が遠いと判断し、前記リモートコントローラの表示手段をG U I画面の表示先とし、前記検出手段において検出された距離が予め定められた値より小さい場合は前記距離が近いと判断し、当該表示装置をG U I画面の表示先とすることを特徴とする請求項6に記載の制御方法。

【請求項10】

前記制御手段では、当該表示装置をG U I画面の表示先とされている場合、前記リモートコントローラの表示手段に前記コンテンツを表示させることを特徴とする請求項6

乃至 9 の何れか 1 項に記載の制御方法。

【請求項 1 1】

請求項 6 乃至 1 0 の何れか 1 項に記載の制御方法の各ステップをコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

そこで、本発明は、コンテンツを表示する表示装置であって、視聴者の状況情報を検出する検出手段と、前記検出手段において検出された状況情報に基づいて、当該表示装置か、又は当該表示装置に対して操作指示を行うリモートコントローラの表示手段か、G U I 画面の表示先を制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

また、本発明は、コンテンツを表示する表示装置が実行する制御方法であって、視聴者の状況情報を検出する検出ステップと、前記検出ステップにおいて検出された状況情報に基づいて、当該表示装置か、又は当該表示装置に対して操作指示を行うリモートコントローラの表示手段か、G U I 画面の表示先を制御する制御ステップと、を有することを特徴とする。